

DPS News Letter

社団法人情報処理学会 マルチメディア通信と分散処理研究会(DPS) ニュースレター Vol. 1, No. 1

ハイライト:

- DPSニュースレターを発刊いたしました！！
- 研究報告の電子化について
- DPSワークショップの原稿締切近づく！
- 第140回 DPS研究会 CFP
- 平成21年度DPS研究会関係行事予定
- DPS研究会ホームページ リニューアル

DPSニュースレター発行にあたって

登録会員の皆様、マルチメディア通信と分散処理研究会(以下、DPS研究会と略記。)主査の串田高幸です。今年度より情報処理学会の全研究報告論文のオンライン化サービスが開始されたのを機に、従来の研究報告に代わる新サービスを昨年度から慎重に検討してきました。この度、登録会員の皆様への情報提供サービスとして、このDPSニューズレターを幹事の菅沼拓夫さん(東北大学)を編集長として新規発行する運びとなりました。

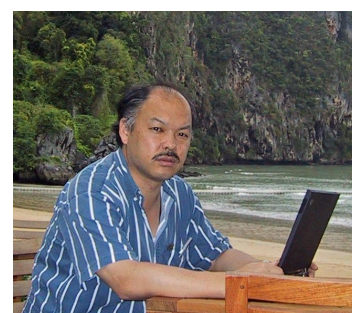
ここでDPS研究会の設立からの経緯とDPS研究会の主な活動内容について説明致します。DPS研究会は、情報処理学会においてコンピュータネットワーク委員会が昭和48年に設立されたのが始まりであり、その後、昭和50年にコンピュータネットワーク研究会、昭和54年に分散処理システム研究会と名称の変更を行ない、昭和60年にマルチメディア通信と分散処理研究会に改称されて、現在に至っています。この間に関連分野の新しい研究会として、GN研究会、DSM研究会、MBL研究会及びCSEC研究会が、DPS研究会が母体となって設立され、新しい研究領域の創生と研究の裾野拡大に貢献してきました。

DPS研究会では、年4回開催している通常の研究報告会に加えて、今年で通算17回となる「マルチメディア通信と分散処理ワークショップ」を、毎年、全国各地の風光明媚な場所において3日間の合宿形式で開催し、成果発表及び活発な議論のできる場を提供してきました。また、DPS研究会が主体となり、毎年、マルチメディア、分散処理、ネットワークに関する優秀な論文を集めて、情報処理学会特集号を編集発行してきました。

一方で、長年にわたって使ってきたWEB・メーリングリスト・システムの全面更新を、アドバイザーの重野寛さん(慶応大学)と研究運営委員の木谷友哉さん(静岡大学)を中心に重点プロジェクトとして、昨年度より進めてきており、2009年4月から新コンテンツ管理・メーリングシステムとしてサービスを開始することができました。このシステムによって、今まで以上に質の高いサービスを提供できるものと確信しております。今年度は、情報処理学会論文誌への研究会推薦方法を見直し、研究報告会及びワークショップで発表された優秀論文をタイムリーに論文誌編集委員会に推薦し、また情報処理学会各賞へ推薦できるように幹事の加藤由花さん(産業技術大学)を中心に推薦プロセスを整備していく予定です。これらの活動は、主査だけでできるものではなく、幹事4名、研究運営委員43名に加えて、昨年度から歴代主査幹事経験者によるDPSアドバイザー13名、今年度から、研究運営委員経験者によるDPSシニアメンバー11名を加えた、多くの関係者の熱意と多大な努力によって成し遂げられてきました。

DPS研究会は、今後も情報処理学会の研究会として、登録会員の皆様が研究活動を進めていく上でのアイデアから成果発表に至るまでの要望を取り入れ、研究分野のコミュニティー全体を活性化させ、当該研究分野の発展に貢献していく所存でありますので、今後とも叱咤激励、ご支援をお願いします。

マルチメディア通信と分散処理研究会主査 串田 高幸 (IBM)



ワイヤレスLANを使って仕事中の筆者

目次:

DPSニュースレター発行にあたって	1
研究報告の電子化について	2
DPSワークショップの原稿締切近づく!!	3
第140回 マルチメディア通信と分散処理研究会	4
平成21年度のDPS研究会関連行事の開催予定	5
DPS研究会ホームページリニューアル	6

研究報告の電子化について

情報処理学会では、本会創立50周年(2010年)に向けて、論文誌ならびに研究会活動を全面的にペーパーレス化し、印刷コストの低減分を購読価格などに反映させると共に、オンライン化することで得られる会員サービスの向上を目指して取り組みを行っています。今年度は研究会活動のオンライン化が進み、これまで紙媒体で出版され、研究会登録者の皆さんに配布されていた「研究報告」が廃止となり、オンライン出版へと移行しています。

詳細は学会ホームページをご参照頂きたいと思いますが、研究会登録者のみなさんにとっては非常に大きな変更となりますので、「研究会登録者」、「研究会での発表者」、「研究会参加者」の立場から、電子化によってそれぞれどのような変化が生じるかを簡単にご紹介します。

研究会登録者から見た電子化

- これまで郵送、あるいは研究会当日に手渡しされていた紙媒体の「研究報告」の冊子がなくなります。
- 紙媒体の代わりに、当該研究報告を発行する研究会に登録することで、本会電子図書館(BookPark)上の「情報処理学会研究報告」により、当該年度の各研究会の登録費で年間購読できます。ただしBookParkを利用する際には、BookPark上でユーザ登録が必要です。
- ペーパーレス化によって登録費が若干安くなっています。
- 昨年度までで研究会に登録いただいていた方は、平成21年1月の定期請求時の自動継続手続きで、新たな手続きは必要ありません。
- 研究報告は、当該研究会開催日の**1週間前**に本会電子図書館(BookPark)に掲載されます。

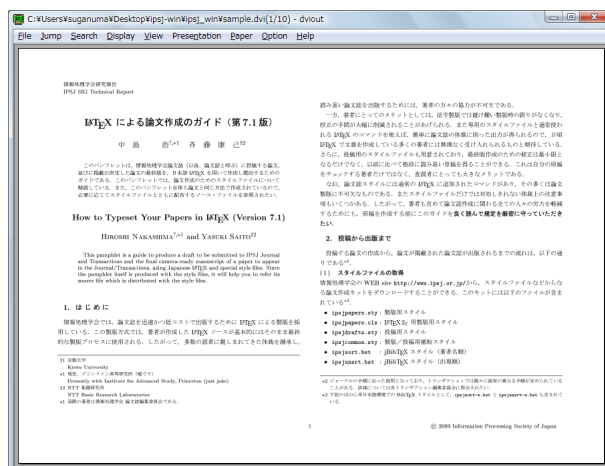
研究会参加者から見た電子化

- 研究会に登録されている皆様が研究会に参加する場合は従来通り**無料**です。
- 研究会に登録されている皆様が、当該研究会開催日の**1週間前**に本会電子図書館(BookPark)で研究報告の閲覧が可能ですので、事前にダウンロードするなどしてください。
- 研究会に登録されていない方が研究会に参加する場合は有料**です。所定の参加費を払っていただくことにより配布される資料閲覧用のパスワードにより、所定のWebサイト(開催当日～1週間後まで掲載)から資料をダウンロードいただけます。
- ネット環境のない会場ではUSBメモリでの資料の配布も予定されています。

研究会活動のオンライン化に伴い、「研究報告」の冊子がなくなりました。BookParkでの登録により電子的に研究報告を閲覧できます。登録をお忘れなく!!

発表者から見た電子化

- 研究発表会の発表申込から原稿提出までをオンライン化するよう対応中とのことです。すでに郵送での原稿、参考情報等の提出はなくなっている模様です。段階的にオンライン化が進むと思われるので、研究発表に申し込んだ際の、学会や研究会担当者からの提出方法のアナウンスにご注意ください。
- ペーパーレス化に伴い、論文原稿のフォーマットが変更になります。**1枚に2ページ(2-up)**の形式です。TexやMS-Wordのテンプレートも提供されています。論文作成時にはご注意ください。
- 電子化によりページ数の制限がなくなりましたが、DPS研究会では基本的にはこれまでのページ数を踏襲して「6～8ページ程度」としてお願いしております。その以上の長さの原稿投稿を希望される場合は、該当研究会の担当者にご相談ください。



研究報告の新しい論文フォーマット

DPSワークショップの原稿締切近づく!!

第17回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ 論文募集

開催日時:平成21年10月7日(水)～9日(金)

開催場所:層雲閣グランドホテル(北海道層雲峡) (<http://www.sounkaku.co.jp/>)



情報処理学会マルチメディア通信と分散処理(DPS)研究会では、高速通信、分散コンピューティング、マルチメディア情報通信、知的通信、プロトコル、分散協調などの研究分野について、活発な研究発表が行なわれております。これらの研究について、通常の研究会では出来ない深い議論を行なうため、1992年度より合宿形式のマルチメディア通信と分散処理ワークショップを開催してまいりました。これまで皆様の御協力により、湯布院(1992年)を皮切りとして、最近では、霧島(2006年)、加賀(2007年)、萩(2008年)でワークショップを開催してきました。毎回、多くの方の参加をいただき、充実した議論を通じて多くの成果を得ています。2009年度は、北海道層雲峡にて開催することといたしました。つきましては、研究活動の活性化および新しい研究の方向を探る場として、皆様のワークショップへのご参加と活発で有意義な議論をお願いいたします。

【テーマ】

マルチメディア通信/処理/システム、分散コンピューティング/処理/アルゴリズム/オブジェクト、オーバーレイネットワーク、P2P、センサネットワーク、クラウドコンピューティング、モバイルコンピューティング、アドホックネットワーク、グリッドコンピューティング、FMC、ネットワークアーキテクチャ、ユビキタスシステム、コンテキストウェアネス、高度道路交通システム(ITS)、感性情報システム、創発的ネットワーク利用、ユーザ参加型ネットワーク、ソーシャルネットワーキング、マッシュアップ、ネットワークサービスプラットフォーム、Webサービス、SOA、SaaS、IMS、災害時通信、省電力システム、応用・社会システム、セキュリティ、システム仮想化、通信プロトコル、経路制御/品質制御、ネットワーク管理(必ずしもこれらに限りません)

【論文カテゴリ】

一般セッション発表(一般論文):

- ・学術的な研究論文に限らず、事例報告、問題提起などの論文も是非ご投稿ください。
- ・英文論文、英語による発表も歓迎します。
- ・本研究会様式(シングルスペース、2カラム)で原則として6ページ以内とします。
- ・投稿は電子投稿とします。次のURLに投稿のためのリンクを設けます。 <http://www.dpsws.org/>
- ・査読により、40～50件程度の論文を採択します。査読結果により優秀な論文を優秀論文賞、学生優秀論文賞などとして表彰します。また、情報処理学会論文誌へ研究会推薦論文として推薦も行ないます。
- ・査読の結果、ショートプレゼンテーションやポスター発表として採録する場合があります。あらかじめご了承ください。

特別セッション発表(デモ・ポスター):

- ・試作ツールやシステムの紹介、会場での実験、製品紹介等のデモンストレーションを募集します。
- ・研究途上にあるテーマの中間報告、問題提起や討論、新分野への取り組みなど、テーマ別のセッションの中では発表しにくい内容や、時間に制限されない発表を希望される方のためにポスター発表を募集します。
- ・発表の申し込み方法は、次のURLに提示します。 <http://www.dpsws.org/>
- ・発表者には、本研究会様式(シングルスペース、2カラム)の2ページ以内の原稿(本研究会形式)を作成いただき、ワークショップ予稿集に収録いたします。
- ・優秀なデモ、ポスターを選定し、表彰を行う予定です。

【その他】

アウトドアセッション等の企画を検討しております。

【スケジュール】

- | | |
|--------------------------|----------|
| ・論文提出: | 6月26日(金) |
| ・デモ、ポスター発表申込締切: | 7月24日(金) |
| ・論文審査結果通知(デモ、ポスターを含む): | 8月07日(金) |
| ・カメラレディ(デモ、ポスターを含む)原稿締切: | 9月11日(金) |

DPSワークショップ
論文提出締切は
6月26日(金)
開催は
10月7日～9日
です。
お忘れなく!!



第140回 マルチメディア通信と分散処理研究会

【第140回担当】 プログラム担当: 上原 稔(東洋大) 会場担当: 清水 将吾(産業技術大)

表記の研究発表会を下記のとおり予定しております。奮ってご応募のほどよろしくお願い申し上げます。

記

日時: 平成21年9月10日(木)～11日(金)

場所: 産業技術大学院大学 秋葉原ダイビルキャンパス(予定)

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-18-13

秋葉原ダイビル12F(1202室)

連絡先(代表): 03-5294-0250、FAX番号: 03-5294-0253

テーマ: コンテキストウェアネス、ユビキタスコンピューティング(ただし必ずしもこれらに限定しません)

発表申込締切: 平成21年7月10日(金) (原稿締切は8月中旬を予定)

申込先: 下記必要事項を記入し電子メールでお申し込みください。

Subjectの先頭に「DPS140」とご記入ください。

電子メールの宛先: dps140@ipsjdps.org プログラム担当 上原 稔(東洋大)宛

ご応募の際には下記必要事項を記入の上、上記プログラム担当宛に送付してください。



[DPS 2009年9月研究会]

- 論文名:
- 著者名(登壇者に○)(所属)(全員):
- 論文概要(2、3行):
- キーワード(プログラム編成のため):
- 推薦論文への推薦希望: 希望する 希望しない
- 連絡者名(ご案内送付用の代表者):
- 連絡者住所:
- 電話番号:
- FAX番号:
- e-mail:

(照会先): 上原 稔 dps140@ipsjdps.org

(参考)

- 発表申し込みをいただきました方には、後日学会事務局から原稿の依頼をさせていただきます。(上記申し込み書の6、7項の方にご連絡します。)
- カメラレディの締め切りは研究会開催日のおおよそ1ヶ月前に設定されます。
- 平成21年度より、研究報告が完全オンライン化され、原稿が横長スタイルに変わっていますのでご注意ください。詳細については以下のURLをご参照ください。
<http://www.ipsj.or.jp/09sig/kenkyukai/genko.html>
- 原稿仕上がり枚数は、原則として6～8ページ程度とします。
- 研究報告用PDF原稿等のご提出先は三美印刷になります。ご承知おきください。

(注意事項)

研究報告の完全オンライン化に伴い、研究発表当日の資料は、開催の1週間前に情報処理学会電子図書館(BookPark)に掲載されます。そのため、研究報告に掲載される論文の公知日は、研究発表会の開催日初日の1週間前となります。特許申請の扱い等の際にはご注意ください。

今回のDPS研究会は
産業技術大学院大
学・秋葉原ダイビル
キャンパスにて開催。
申込〆切は
7月10日
です。

平成21年度 DPS研究会関連行事の開催予定

今年度のDPS研究会関連行事の開催予定は、以下の通りです。みなさん奮ってご参加ください。

DPS研究発表会

	日程	場所	合同	テーマ・プログラム	申込締切	原稿締切
第1回 (DPS139)	6月18日(木)～ 19日(金)	静岡県立大(静岡)	—	分散システム、 オーバーレイネット ワーク	締切りました	締切りました
第2回 (DPS140)	9月10日(木)～ 11日(金)	産業技術大 秋 葉原キャンパス (東京)	—	コンテキストアウェ アネス、ユビキタス コンピューティング	7月10日(金)	8月中旬
第3回 (DPS141)	11月26日(木) ～27日(金)	大和ミュージア ム(広島)	GN/EIP	協調システム、マ ルチメディア通信 及びそれら技術の 社会的側面	9月25日(金)	10月中旬
第4回 (DPS142)	3月4日(木)～ 5日(金)	東北大 電気通 信研究所(宮城)	CSEC	ネットワークセキュ リティ	1月8日(金)	2月上旬

DICOMOシンポジウム / DPSワークショップ

	日程	場所	論文締切	参加申込締切
DICOMO2009 シンポジウム	7月8日(水)～ 10日(金)	杉乃井ホテル (大分県別府温泉)	締切りました	締切りました
DPSワークショップ2009	10月7日(水)～ 9日(金)	層雲閣グランドホテル(北 海道上川郡上川町)	6月26日(金)	9月

今年度も4回の研究発表会を予定しています。今のうちにスケジュール帳にご記載ください！

情報処理学会論文誌 DPS特集号 査読中

DPS研究会の運営委員が中心となって編集を進めている、本年度の情報処理学会論文誌特集号、「サイバーコミュニケーション環境を実現するネットワークサービス」特集号の論文投稿が締め切られました。たくさんのご投稿誠にありがとうございました。

現在、査読者による論文査読(1回目)が進んでいるところです。

本年度は、査読サイクルを可能な限り早めることで、従来より1カ月早い11月上旬の最終判定通知を目指して査読を進めております。また早期に判定が出た論文については、できるだけ早めに投稿者に通知できるようにしたいと考えております。

ご投稿いただきました方々におかれましては、まもなく第1回目の査読結果通知があると思いますので、いましばらくお待ちください。

DPS研究会ホームページ リニューアル

DPS研究会アドバイザーの重野寛さん(慶応大学)、研究運営委員の木谷友哉さん(静岡大学)、幹事の加藤由花さん(産業技術大学)を中心に重点プロジェクトとして研究会ホームページのリニューアルを進めておりました。このたび、2009年4月から新コンテンツ管理・メーリングシステムとしてサービスを開始いたしました。

新ホームページ、メーリングリストの機能の詳細については、機会をあらためてご紹介いたします。

このシステムによって、今まで以上に質の高いサービスを提供できるものと確信しております。

DPS研究会の最新情報はホームページをご覧ください。

ホームページをご覧ください。
<http://www.ipsjdps.org/>



新装開店したDPS研究会ホームページ

平成21年度DPS研究会運営委員会

今年度のDPS研究会運営委員は以下の方々をお願いしております。研究会についてのお問い合わせは、お近くの運営委員の方までお願いいたします。

主査: 串田 高幸 (日本アイ・ピー・エム(株))

幹事: 田上 敦士 ((株)KDDI研究所) 明石 修 (NTT)

菅沼 拓夫 (東北大学) 加藤 由花 (産業技術大学院大学)

運営委員:

新井 克也 (NTT情報流通プラットフォーム研究所)

池田 哲夫 (静岡県立大学)

板谷 聡子 (NEC)

岩本 健嗣 (富山県立大学)

植田 和憲 (高知工科大学)

上原 稔 (東洋大学)

柴藤 稔 ((株)NTTドコモ)

榎戸 智也 (立正大学)

大崎 博之 (大阪大学)

岡下 綾 (日本電気(株))

金井 敦 (法政大学)

神崎 映光 (大阪大学)

菊池 浩明 (東海大学)

北形 元 (東北大学)

木谷 友哉 (静岡大学)

小塚 宏 (三菱電機(株))

今野 将 (千葉工業大学)

齊藤 裕樹 (東京電機大学)

佐藤 永欣 (岩手県立大学)

重安 哲也 (広島国際大学)

清水 周一 (日本アイ・ピー・エム(株))

滝沢 泰久 (関西大学)

清水 将吾 (産業技術大学院大学)

杉田 薫 (福岡工業大学)

高橋 修 (公立はこだて未来大学)

滝沢 泰久 (関西大学)

土屋 隆司 ((財)鉄道総合技術研究所)

中嶋 卓雄 (東海大学)

中村 素典 (国立情報学研究所)

西木 健哉 ((株)日立製作所システム開発研究所)

林原 尚浩 (京都産業大学)

乃村 能成 (岡山大学)

野呂 正明 ((株)富士通研究所)

橋本 浩二 (岩手県立大学)

山口 弘純 (大阪大学)

松野 浩嗣 (山口大学)

棟朝 雅晴 (北海道大学)

村井 信哉 ((株)東芝)

山室 雅司 (日本電信電話(株)) 横山 和俊 (株)NTTデータ

DPS News Letter Vol.1, No.1

発行:

社団法人情報処理学会 マルチメディア通信と分散処理(DPS)研究会

主査: 串田 高幸 (日本アイ・ピー・エム(株))

幹事: 田上 敦士 ((株)KDDI研究所)、明石 修 (NTT)、

菅沼 拓夫 (東北大学)、加藤 由花 (産業技術大学院大学)

研究会全般に関するお問い合わせ:

社団法人情報処理学会 研究会担当 (sig@ipsj.or.jp)

DPSニュースレターに関するお問い合わせ:

suganuma@shiratori.riec.tohoku.ac.jp

[編集後記]

研究会の電子化・オンライン化・ペーパーレス化によって、これまでの研究会の活動にも大きな変化が予想されます。電子化によって効率化・コスト削減などの効果が期待されますが、本研究会では、電子化による恩恵を十分に享受しつつ、それによって生ずる新たな課題をいかにクリアしていくかが今後の研究会のありかたに大きな影響を与えるものと考え、幹事団、運営委員会を中心に様々な検討を行っています。その活動の一環として、今回、紙媒体でのニュースレターの発行を開始しました。皆様のご意見を反映してより有意義な情報媒体としていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

DPSニュースレター編集幹事 菅沼拓夫 (東北大学)